

令和元年度青森県高等学校PTA連合会

下北むつ大会

# 大会要項

大会テーマ

「地域と歩み世界へ挑む  
子どもたち」

～激動する世界と未来へ駆け上がれ～

とき 令和元年6月7日(金)

ところ 下北文化会館 大ホール

# 令和元年度 青森県高等学校P T A連合会 下北むつ大会



期 日／令和元年6月7日（金）

会 場／下北文化会館 大ホール

主 催／青森県高等学校P T A連合会

後 援／青森県教育委員会  
青森県高等学校長協会  
一般財団法人青森県高等学校安全互助会  
むつ市  
むつ市教育委員会

主 管／青森県高等学校P T A連合会 下北むつ地区協議会

# 令和元年度 青森県高等学校PTA連合会 下北むつ大会

## 目 次

テーマ及び日程 .....	1
大会長挨拶 .....	2
大会実行委員長歓迎のことば .....	3
会場控室一覧 .....	4
会場平面図 .....	5
大会次第 .....	6
来賓御芳名 .....	7
情報交換会次第 .....	8
大会役員名簿 .....	9
令和元年度 受賞者一覧 .....	10
平成30年度 広報紙コンクール入賞校 .....	12
基調講演 .....	13
生徒発表紹介 .....	14
研究協議 .....	16
研究協議発表 .....	17
令和元年度 青森県高等学校PTA連合会事業計画 .....	23
令和元年度 青森県高等学校PTA連合会 青森県高等学校安全互助会 年間行事予定表 .....	24
令和元年度 青森県高等学校PTA連合会組織図 .....	25
平成30年度・令和元年度 青森県高等学校PTA連合会役員名簿 .....	26
平成30年度・令和元年度 青森県高等学校PTA連合会委員名簿 .....	27
平成30年度・令和元年度 青森県高等学校PTA連合会単位PTA会長一覧 .....	28
各地区協議会担当ローテーション .....	30
青森県高等学校PTA連合会会則 .....	32
一般財団法人青森県高等学校安全互助会 令和元年度ご案内 .....	37
大会参加者名簿 .....	38

## テーマ及び日程

### 1 大会テーマ

# 『地域と歩み 世界へ挑む 子どもたち』

～激動する世界と未来へ駆け上がれ～

### 2 大会日程

期 日 令和元年6月7日（金）

会 場 下北文化会館（大ホール）

（むつ市金谷一丁目 10 - 1 TEL 0175 - 22 - 8411）

時 間	名 称	会 場
12:00～12:30	受 付	下北文化会館
12:30～13:20	開会式・表彰式	同 上
13:30～14:50	基 調 講 演	同 上
15:00～15:30	生 徒 発 表	同 上
15:40～16:50	研 究 協 議	同 上
16:55～17:05	閉 会 式	同 上
18:00～20:00	情 報 交 換 会	むつグランドホテル

※情報交換会

会 場 むつグランドホテル

（むつ市大字田名部字下道4 TEL 0175 - 22 - 2331）





## 大会長挨拶



青森県高等学校PTA連合会

会長 中村 美津緒

皆さんこんにちは！

青森県高等学校PTA連合会会長 中村美津緒と申します。  
大会長として一言ご挨拶を申し上げます。

青森県高等学校PTA連合会会員の皆様におかれましては日ごろのPTA活動及び毎日子供たちを温かい眼差しで見守って下さり誠にありがとうございます。

今日までの歴代の会長をはじめ今日までPTA活動にご尽力くださいました多くの皆様には、これまでの活動に感謝とお礼を申し上げますとともに心から敬意を表します。

本日は令和元年初めての大会『地域と歩み 世界へ挑む こどもたち』～激動する世界と未来へ駆け上がれ～の大会スローガンのもとに行われます下北むつ大会にご参加下さいまして誠にありがとうございます。又、多くのご来賓の皆様にはご臨席を賜りました事、心から深く感謝申し上げます。

この度、県高P連会長を仰せつかりました青森西高等学校PTA会長中村美津緒と申します。

さて、現在の社会情勢はAI（人工知能）やICT（情報通信技術）の進化はとどまることを知りません。「世の中で唯一変わらないのは、世の中が変わり続ける事」だと言われております。

まさしく激動の時代に私達は生きています、生かされております。

又、子供たちを取り巻く環境はこれから更に大きく変化し加えて、子供たちの成長に影響を与える要因も多種多様化となり新たなテクノロジーの時代へと突入致しました。

新たなテクノロジーは世の為、平和の為に活用されるべき道具であります。

それを使いこなすのは私達人間であり将来を担う私達の子供たちでございます。

正しく使いこなす為には善悪を判別できる明確な考え方を身につけなければいけません。

それは正しい倫理観を持つ事であり道徳心を身につける事でもあります。

しかし、この世は生きているという事がすでに悩みであり、善い事をしても必ずしも幸福にはなれない。悪い事をして不幸になるとは決まっていない。厳しい道徳を守っても幸福になれる望みは持てない。子供たちもうすうすうで思っているのではないのでしょうか。

何の為に生き、何の為に働き人間として何が正しいのかという事を真剣に語ることがはばかれる、あるいはお笑いの乗りで一蹴されてしまうような世の中になってきたように思います。

科学技術が発達すればするほど、現代に生きる人の心は不安になってきているのではないのでしょうか。だからこそ、その不安を取り除きこれからの時代を生き抜くためには学校教育だけでは限界があります。むしろ家庭での教育的対話（コミュニケーション）が重要であると考えます。

それがPTA活動の一環でもあると私は信じております。

PTA活動は未来を担う子供たちと保護者と学校、地域を結ぶ金の鎖でございます。

さあ皆さん、私達の子供達の為にあおもりの未来が明るく楽しく輝けるよう「金の鎖」で絆を深めましょう！どうぞ皆様、各学校を超え地域を超え今日のこの良き日の出逢いに感謝し、子どもと一緒に私達も共に成長しましょう、そして楽しみましょう。

私も会長として青森県高P連が益々盛り上がりますように精一杯頑張る所存でございます、ので皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

結びに下北むつ大会の開催にあたり多大なるご支援とご協力賜りました関係各位に深く心から御礼を申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

## 大会実行委員長歓迎のことば



## 歓迎の言葉

青森県立大湊高等学校

父母と教師の会 会長 吉田 錦 一

わずかに残っていた釜臥山の雪も消え、緑鮮やかな季節となりました。

この度は「ジオパークの半島」下北・むつ市によろしくお越しくございました。

地区協議会を代表し大会実行委員長として、御参加くださいました皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

はじめに「ジオパーク」とは、直訳すると「大地の公園」となりますが、地域の地質や岩石、地形とそれらに基づく自然や営みなどに親しみ、学び、楽しむ場所のことを言います。下北には「恐山」や「仏ヶ浦」など、地質学的に珍しい資源がたくさんありますが、それだけでは「ジオパーク」とはなりません。大地や自然、文化、食などの地域資源を学び、保全し、伝え、地域社会や教育に末永く活用することを目的として初めてそう呼べるのです。「ジオパーク」に関わる活動をすることによって、郷土を深く理解する人材を育成するとともに、地域らしさの構築、持続可能な社会を作りあげることに繋がっていくとされています。

繋がると言えば、子育ては親だけが担うものではありません。家庭で子どもを教育するのは当然ですが、子どもは家庭の中だけで育つわけではなく、学校や地域の人たちと関わる中で成長していきます。その子どもたちの未来が奪われないためにも、まず、私たち大人が子どもの抱える問題に直接向き合い、夢や希望を持つことの大切さや、心の豊かさを伝えることで、子どもたちが夢を持ち続け、目の前の困難に対して前向きに挑戦することにより、今後のたくましい成長に繋がるものと考えます。

さて、本年度の大会テーマは基調講演の講師をお願いしました、医師である桑山紀彦先生の海外での活動などから「地域と歩み 世界へ挑む 子どもたち」～激動する世界と未来へ駆けあがれ～と掲げました。桑山先生が海外での活動を始められたきっかけなど、とても興味深いお話になると思います。

また、研究協議では「保護者も活きる、生徒も活きるPTA」というテーマで発表していただきます。どのような内容になるのか、こちらも楽しみなところです。講演、協議の他にも様々な催しを準備しております。その後の情報交換会と最後まで存分にお楽しみください。

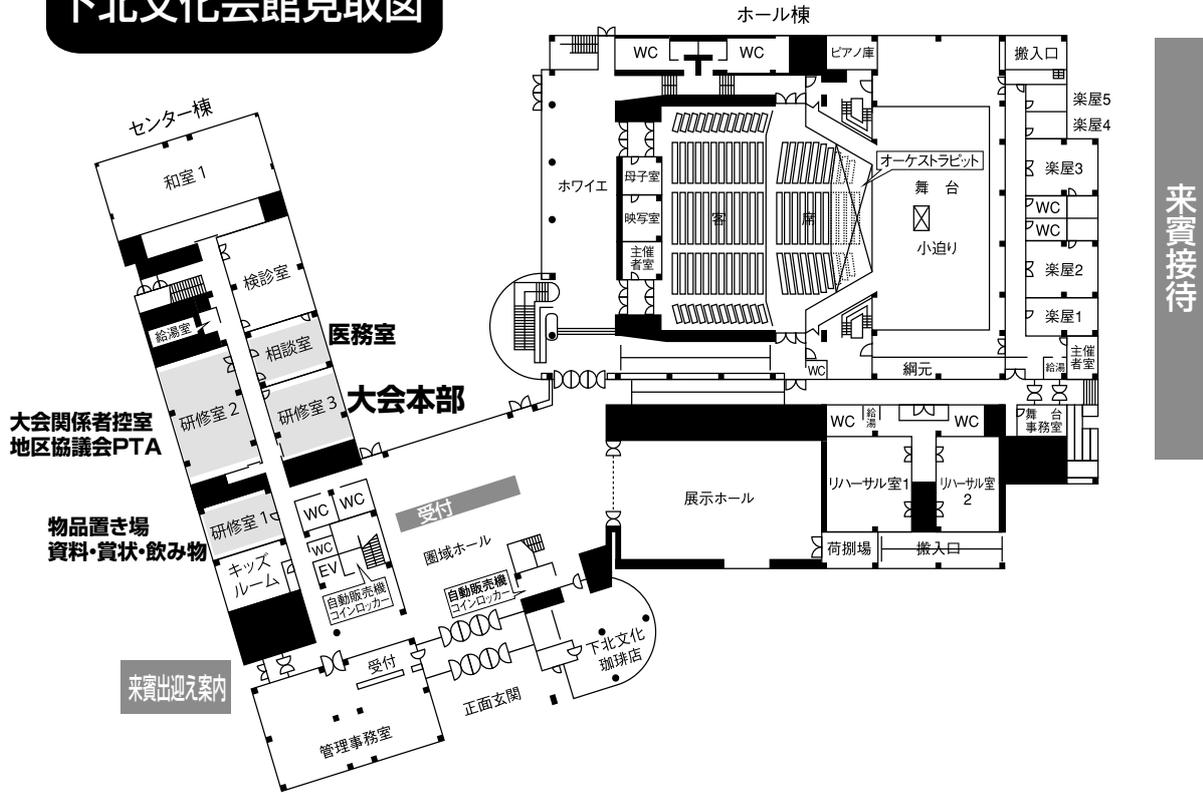
結びにあたり、御参加くださいました方々、並びに大会開催に御尽力くださいました全ての皆様の御健勝と御多幸、そして、本大会が実り多きものとなることを御祈念申し上げ、歓迎の言葉といたします。

## 会場控室一覧

部屋名	人数	役員名
楽屋 1	5	青森県知事 青森県教育委員会教育長 むつ市教育委員会教育長 大会長 実行委員長
楽屋 2	5	青森県高等学校長協会会長 青森県特別支援学校PTA連合会会長 青森県PTA連合会会長 次期開催地区協議会会長 青森県高等学校安全互助会理事長
楽屋 5	3	基調講演講師・助手
主催者室	5	コーディネーター 助言者 発表者
楽屋 3	14	副大会会長 開催地区PTA会長 開催地区高校校長

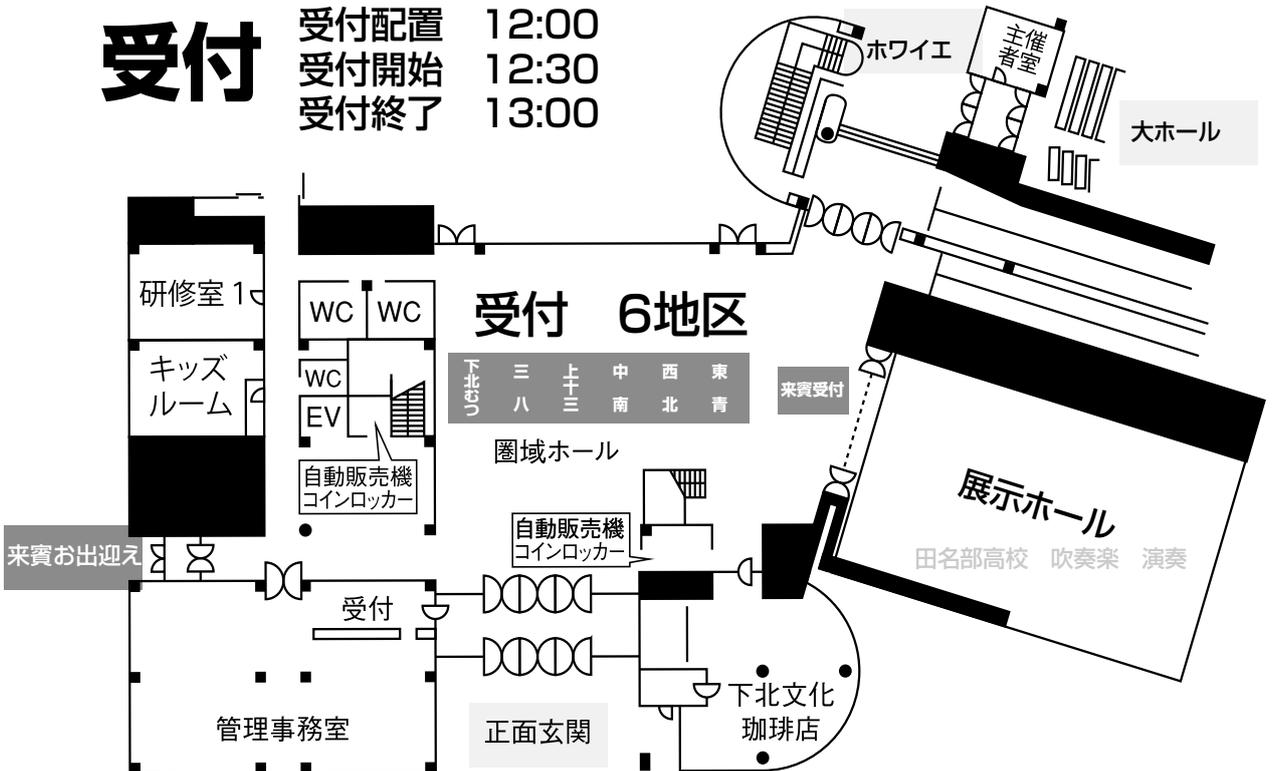
# 会場平面図

## 下北文化会館見取図



## 受付

受付配置	12:00
受付開始	12:30
受付終了	13:00





## 大会次第

司 会 青森県立大湊高等学校PTA 築 地 清 子  
池 田 志 磨 子

## ■開会式・表彰式（12：30～13：20）

- |   |                   |                          |         |
|---|-------------------|--------------------------|---------|
| 1 | 開式のことば            | 下北むつ地区協議会副会長(田名部高校PTA会長) | 由 川 裕 規 |
| 2 | 大会長挨拶             | 青森県高等学校PTA連合会会長          | 中 村 美津緒 |
| 3 | 大会実行委員長挨拶         | 大湊高等学校PTA会長              | 吉 田 錦 一 |
| 4 | 感謝状・表彰状贈呈         |                          |         |
|   | (1) 感謝状受賞者代表      | 三本木高等学校PTA前会長            | 益 川 毅   |
|   | (2) 表彰状受賞者代表      | 五所川原農林高等学校PTA前副会長        | 山 田 真 一 |
|   | (3) 退任校長受賞者代表     | むつ工業高等学校前校長              | 蝦 名 博   |
|   | (4) 渉外主任受賞者代表     | 青森商業高等学校渉外部              | 會 津 一 輔 |
|   | (5) 広報誌コンクール入賞校代表 | 八戸工業大学第二高等学校PTA          |         |
| 5 | 受賞者代表挨拶           | 三本木高等学校PTA前会長            | 益 川 毅   |
| 6 | お祝いのことば           | 青森県知事                    | 三 村 申 吾 |
|   |                   | 青森県教育委員会教育長              | 和 嶋 延 寿 |
|   |                   | 青森県高等学校長協会会長             | 穴 倉 慎 次 |
| 7 | 歓迎のことば            | むつ市長                     | 宮 下 宗一郎 |
| 8 | 来賓紹介              |                          |         |

## ■基調講演（13：30～14：50）

演 題：「子ども達が生きる世界の現状（いま）」  
講 師：医師 桑山 紀彦（くわやま のりひこ）氏

## ■生徒発表（15：00～15：30）

田名部高等学校 吹奏楽部・音楽部  
大湊高等学校 演 劇 部 「オソレンジャー」

## ■研究協議（15：40～16：50）

テーマ『保護者も活きる、生徒も活きるPTA』

コーディネーター：	青森県PTA連合会顧問	佐 藤 広 政
助 言 者：	むつ工業高等学校校長	山 崎 康 浩
発 表 者：【中南地区】	柏木農業高等学校三学年委員長	小 森 忍
【三八地区】	八戸学院光星高等学校PTA会長	向 田 秀 美
【上十三地区】	百石高等学校PTA会長	河 村 信 男

## ■閉 会 式（16：55～17：05）

- |   |            |                        |           |
|---|------------|------------------------|-----------|
| 1 | お礼のことば     | 下北むつ大会実行委員長（大湊高等学校）    | 吉 田 錦 一   |
| 2 | 次期開催地区代表挨拶 | 中南地区協議会会長（弘前実業高等学校）    | 大 川 喜 慎   |
| 3 | 閉会のことば     | 下北むつ地区協議会副会長（むつ工業高等学校） | 二 本 柳 信 行 |

来賓御芳名 (敬称略)

青 森 県 知 事  
(代理 副知事) 三 村 申 吾  
佐々木 郁 夫)

青森県教育委員会教育長 和 嶋 延 寿

む つ 市 長  
(代理 むつ市教育長) 宮 下 宗一郎  
氏 家 剛)

青森県PTA連合会会長  
(代理 副会長) 外 崎 浩 司  
大 見 竜 人)

青森県特別支援学校PTA連合会会長 福 士 素 子

青森県高等学校長協会会長 穴 倉 慎 次

一般財団法人青森県高等学校安全互助会理事長 大 溝 雅 昭



## 情報交換次第

司 会：むつ工業高等学校PTA 二本柳 信 行  
山 内 静 香

- 1 開会のことば  
下北むつ地区協議会副会長 由 川 裕 視  
(田名部高等学校PTA会長)
- 2 大会長挨拶  
青森県高等学校PTA連合会会長 中 村 美津緒
- 3 大会実行委員長挨拶  
下北むつ地区協議会会長 吉 田 錦 一  
(大湊高等学校PTA会長)
- 4 来賓祝辞  
青森県教育庁生涯学習課長 葛 西 浩 一
- 5 来賓紹介
- 6 乾 杯  
青森県高等学校長協会会長 穴 倉 慎 次

..... ご 歓 談 .....  
.....

- 7 アトラクション  
「田名部祭・鏡開き」 豪 川 組
- 8 閉会のことば  
下北むつ地区協議会副会長 二本柳 信 行  
(むつ工業高等学校PTA会長)

## 大会役員名簿

### ◆大会長

青森県高等学校PTA連合会会長 中村 美津緒

### ◆副大会長

青森県高等学校PTA連合会副会長

蝦名 真 希	今井 武	向田 秀 美
藤田 重 彦	畑山 昭 博	吉田 錦 一
穴倉 慎 次	下川原 堅 藏	中嶋 豊
柴田 一 則	越田 宏 治	泉 夏 樹

### ◆顧問

青森県高等学校PTA連合会前会長 若宮 佳 一

### ◆実行委員長

大湊高等学校PTA会長 吉田 錦 一

### ◆副実行委員長

田名部高等学校PTA会長	由川 裕 規
むつ工業高等学校PTA会長	二本柳 信 行
大間高等学校PTA会長	伊藤 一 章
大湊高等学校川内校舎PTA会長	工藤 学

### ◆実行委員

田名部高等学校教頭	嵯峨 弘 章
むつ工業高等学校教頭	伊藤 ゆずる
大間高等学校教頭	島 守 正 寿
大湊高等学校川内校舎教頭	米持 眞津美
大湊高等学校教頭	豊川 武 伸

### ◆事務局長

大湊高等学校校長 下川原 堅 藏

### ◆専門委員

田名部高等学校涉外主任	武川 真 樹
むつ工業高等学校涉外主任	三上 直 樹
大間高等学校涉外主任	橘 寿 幸
大湊高等学校川内校舎涉外主任	野坂 蘭 子

### ◆主管事務局

大湊高等学校	岡嶋 理 子
	渡部 ゆ き
	島守 初 音
	橋本 将 太



## 令和元年度 受賞者一覧 (敬称略)

No.	学校名	感謝状	表彰状	感謝状(退任校長)	表彰状(渉外主任)
1	青森	浅田 豊			杉澤 雅寿
2	青森西			花田 慎	
3	青森東	加藤 卓治		松野 洋祐	
4	青森東 平内校舎				
5	青森北	柿崎 稔			
6	青森北 今別校舎	加藤 覚			
7	青森南	阿部 浩志		福士 順一	
8	青森中央	立田 和徳			和嶋 聖二
9	北斗			飛内 文代	
10	浪岡	木村 理佐			
11	青森工業	大室 幸司			
12	青森工業(定時制)				
13	青森商業	後藤 睦雄			會津 一輔
14	青森明の星		三上 智幸		
15	県立盲				
16	青森聾	蛭名 千鶴			
17	青森第二養護	中野渡 美保			
18	青森第二高等学校	葛西 太生			
19	弘前	前田 一隆			
20	弘前中央	大高 義昭			
21	弘前南	佐々木 正和		三上 隆裕	
22	黒石	竹村 江里子			
23	柏木農業		小田桐 隆子		舘山 昭廣
24	弘前工業	伊藤 達也			
25	弘前工業(定時制)	大坊 真紀			
26	弘前実業	對馬 明宏		福士 広司	
27	弘前実業 藤崎校舎	太田 陽一			
28	黒石商業	村上 照幸			
29	東奥義塾	棟方 秀和			
30	弘前学院聖愛	山本 真			
31	弘前東	工藤 順			
32	尾上総合				
33	八戸	若宮 佳一			諏訪内 博彦
34	八戸東	山田 知		福井 武久	
35	八戸北				
36	八戸西	中村 正記	平島 みゆき		
37	八戸中央				
38	五戸	久田 伸博			
39	三戸	藤原文雄			
40	田子	小林 靖典	築田 昭子		
41	名久井農業	寺澤 博幸			
42	八戸水産	番地 ゆか			
43	八戸工業	葛西 慶信			
44	八戸工業(定時制)	中村 智加子			
45	八戸商業	山口 仁	千葉 信子	荒川 由美子	
46	千葉学園	佐々木 康人			
47	八戸聖ウルスラ学院				
48	八戸工業大学第一		上原子 澄子		
49	八戸工業大学第二		城前 洋次		
50	八戸学院光星		長瀬純子・橋本睦子		
51	向陵		金澤 尚子		
52	八戸高等支援			神林 宏喜	
53	木造	田中 久仁	開米 恵		

No.	学 校 名	感 謝 状	表 彰 状	感謝状 (退任校長)	表彰状 (渉外主任)
54	木 造 深浦校舎				
55	鯨ヶ沢	吉 田 孝太郎	山 本 弥智世	百 川 弘 通	
56	五所川原				
57	五所川原 (定時制)	中 畑 清 美			
58	板 柳			米 持 聡	
59	金 木	大 川 勝 仁	辻 純 子		
60	中 里		小 寺 也 人		
61	鶴 田				
62	五所川原農林	岩 谷 康 平	山 田 真 一		
63	五所川原工業	棟 方 博 之	田中明美・平山正子	三 上 浩	川 浪 泰 浩
64	五所川原第一	笹 山 和 信	荒 関 勝 幸		
65	五所川原商業	今 広 樹	加賀谷 尚		
66	森田養護				
67	野 辺 地	上原子 亘		早 野 英 明	
68	七 戸				
69	六 戸	川 村 秀 典			
70	六ヶ所	吉 岡 賢 一			
71	三 本 木	益 川 毅		長者久保 雅仁	木 村 智 志
72	十和田西	坂 田 勝 彦			
73	三 沢	宮 野 ゆかり	堀切川 進		
74	三 沢 (定時制)				
75	百 石	市 川 ひろみ			
76	三本木農業	成 田 一 郎		高 谷 正	北 上 守
77	十和田工業	蛭 澤 康 之			
78	三沢商業				
79	八戸学院野辺地西				
80	七戸養護				
81	田 名 部				
82	田 名 部 (定時制)	飯 沢 里 美			
83	大 湊				
84	大 湊 川内校舎	今 里 美			
85	大 間	金 澤 秀 人			
86	むつ工業	倉 内 健 次		蝦 名 博	

	氏 名	学 校 名	推 薦 理 由
東北地区感謝状 ( 候 補 )	開 米 恵	木 造	県連健全育成委員長、東北地区代議員
	三 上 智 幸	青 森 明 の 星	県連調査広報委員長、東北地区代議員
東北地区表彰状 ( 候 補 )	今 広 樹	五所川原商業	西北地区協議会長、県連副会長
	成 田 一 郎	三本木農業	上十三地区協議会長、県連副会長
	山 本 真	弘前学院聖愛	私立学校保護者会推薦、県連副会長
	益 川 毅	三 本 木	県連副会長
	今 井 武	柏 木 農 業	県連研修委員長

		氏 名	推 薦 理 由
全 国 表 彰 ( 候 補 )	個 人	成 田 一 郎	30 年度県大会実行委員長
	団 体	大 湊 高 校	元年度県大会事務局校



# 平成30年度 広報紙コンクール入賞校

応募総数 47校



## \*最優秀賞（1校）

- 八戸工業大学第二高等学校 『きらゝ』

## \*優秀賞（2校）

- 青森西高等学校 『西高通信』
- 八戸工業高等学校 『和』

## \*優良賞（5校）

- 青森中央高等学校 『やしゃぶし』
- 八戸水産高等学校 『海 響』
- 青森工業高等学校 『PTA だより』
- 五所川原農林高等学校 『涓 流』
- 八戸商業高等学校 『八商広報』

## \*奨励賞（5校）

- 弘前工業高等学校 『黄 鷹』
- 田名部高等学校 『広報たなぶ』
- 八戸学院光星高等学校 『東 雲』
- 青森商業高等学校 『合浦ヶ浜』
- 柏木農業高等学校 『かしわ葉』

## \*努力賞（5校）

- 八戸東高等学校 『桜ヶ丘だより』
- 弘前実業高等学校 『清 風』
- 五所川原高等学校 『はるにれ』
- 青森明の星高等学校 『明の星』
- 百石高等学校 『いちよう』

**基調講演**

〈13:30～14:50〉

映像と音楽のコンサート そして、世界の今を知る貴重な出会い

# 地球のステージ

## 地球のステージとは？

1996年1月15日よりはじめた、ライブ音楽と大画面の映像、スライドによる語りを組み合わせた、まったく新しいタイプの”非営利”『コンサート・ステージ』です。  
世界で起きている様々な出来事を、講演形式ではなく、音楽と大画面のビデオ・スライドに写し出し、語りと曲で構成していく『映像と音楽のシンクロステージ』です。



## 桑山紀彦氏

神奈川県海老名市在住 海老名こころのクリニック院長  
NPO法人「地球のステージ」代表理事



今回は『東日本大震災篇』  
を含む Part 1 特別篇です



地球のステージホームページ

これまで64カ国を歩き、AMDA [アジア医師連絡協議会]、JEN [日本緊急救援NGO]などに所属しながら国際医療救援活動を展開してきました。戦火のパレスチナをはじめ、貴重な体験・経験をされた日本が世界に誇るひとりです。

今回は桑山氏ご自身が、世界を巡り撮りためた映像資料と現地で出会った人々との交流から生まれた音楽をバックに、今世界で起きている紛争・貧困・災害などを伝えてまいります。これまで国内・海外で3700回以上公演されています。

下北むつ地区では、今までに田名部高校で4回、むつ工業高校では10回開催されています。

高校のPTAだけでなく、児童・生徒、そして地域住民の皆さんに是非体感して頂き、感動を共有したいと思います。

## ウエルカムミュージック

<12:00~>

### 青森県立田名部高等学校 吹奏楽部・音楽部

このたびは、青森県高等学校PTA連合会むつ下北大会で発表する機会をいただき、大変うれしく光栄に感じております。本当にありがとうございます。私たち田名部高校吹奏楽委員会は、3学年合わせて42名で活動し、「響奏で信願」というスローガンを掲げて日々練習に励んでいます。このスローガンには、「仲間を信じ、全員で演奏を響かせる」という意味が込められています。5月末には記念すべき第50回定期演奏会を開催させていただき、仲間たちと協力し心をついに演奏会に臨みました。伝統を築いてこられた先輩方や、本校吹奏楽委員会の長い歴史を支えてきてくださった地域の方々、そして、毎日私たちのことを見守ってくださる先生方や保護者の皆様への感謝の気持ちを演奏にのせてお届けすることができたと思います。

本日は、御来場の皆様への歓迎の気持ちを込め、心と耳を和ませる演奏を心がけ、今年度の大会を盛り上げるお手伝いできればと考えております。3つのアンサンブルチームを結成し、様々なジャンルの曲を御用意しました。また、本校音楽部の合唱もごさいます。開会までのウエルカムミュージックを、ぜひお楽しみください。



# 生徒発表

<15:00 ~ 15:30>

## 青森県立大湊高等学校 演劇部

私たち青森県立大湊高等学校演劇部は、キャストが10人、音響と照明、舞台監督を含めたスタッフ5人で構成されています。私たちは主に、ミュージカルの作品を自分たちで作りと、演じています。その他にも、一人劇や、15分ほどの歌がない作品を演じることもあります。去年は「ミヨコとタイト工場」という作品で、地区大会は、最優秀賞と創作脚本賞、県大会では優秀賞をとることができました。15人という少ない人数ですが、地域のイベントや、自主公演などを通して地域の方に、さらに演劇部を知っていただこうと努力しています。今回、上演させていただく除霊戦隊恐れんじゃーは、私たちで考え、演出しました。この作品は、仏ヶ浦が舞台で、地域の高校生が、海を汚す悪者に立ち向かうお話です。見所は、迫力と勢いがあり、パワフルな戦闘シーンです。他にもコミカルな要素がたくさんあり見る人に元気を与えるようにできました。約15分という短い時間ですが、この日のためにみんなで心をひとつにし、一生懸命練習しました。今回、青森県高等学校PTA連合会十和田の大会に参加することができ大変ありがたく思います。皆様に楽しんでいただければ幸いです。よろしくお祈りします。



## 研究協議

〈15:40～16:30〉

研究協議テーマ

『保護者も活きる、生徒も活きるPTA』

【コーディネーター】

青森県PTA連合会顧問 佐藤 広政 氏

【助言者】

むつ工業高等学校校長 山崎 康浩 氏

【発表者】

中南地区

「生徒とともに、学校とともに、そして保護者とともに」

柏木農業高等学校 三学年委員長 小森 忍

三八地区

「楽しく活動しよう」

～子ども達のために協力を惜しまず、我々も楽しむPTA～

八戸学院光星高等学校PTA会長 向田 秀美

上十三地区

～学校と保護者をつなぐ活動について～

百石高等学校PTA会長 河村 信男

## 研究協議／中南地区

生徒とともに、学校とともに、  
そして保護者とともに

柏木農業高等学校三学年委員長 小森 忍



## 1 学校紹介

平川市は津軽平野の南部にあります。市の基幹産業は稲作やリンゴ・モモ・ブドウなどの果樹を中心とした農業であり、本校は、基幹産業である農家の経営力向上を目指し、後継者を養成することを目的として、大正15年柏木町村他4ヶ村組合立柏木町農学校として開校してから創設94年目を迎えます。幾多の学科改編を経て、現在は生物生産科・環境工学科・食品科学科・生活科学科の4学科12クラス、約380名の生徒が通学しています。校地内には、水田、果樹園、野菜畑、草花温室などの生産圃場や実習施設も充実しています。また日本庭園・西洋庭園の設置、白神山地をイメージした『柏農の森』、桜並木がきれいな『ふれあいの道』、各都道府県木を配した『恵みの森』、『ハンカチツリー園』など環境整備事業に力を入れ、その成果が認められ、平成27年度には環境大臣表彰、そして今年度には内閣総理大臣表彰を受けました。

## 2 PTA活動

本校のPTAは、主に学校行事と連携したものが多く、実際に生徒の様子をうかがい、学校の現状を知ることができ、役員だけではなく他の保護者との情報交換や親睦を図ることを目的として活動しています。

本校PTA組織

☆執行部役員 会長1名 副会長4名(うち1名は教頭) 監事3名 顧問(現在2名)

☆学級理事 各クラス2名以上(現在47名)

☆委員会活動 1)各学年委員会 2)健全育成・研修委員会 3)広報委員会

## 【年間活動計画】

4月	PTA総会 授業参観 役員会	10月	校内研修会 柏農祭 収穫感謝祭
5月	全校田植え大会 地区P総会	11月	校外巡視 反省会
6月	ウォーク21	12月	ポスター発表会
7月	登校時一声運動	1月	地区P研修会
8月	柏農ねぶた運行 地区P親と子と教師の集い	2月	賞状授与式
9月	PTA研修旅行 全校稲刈り大会	3月	意見発表会 プロジェクト発表会

## (1) 総会・役員会

総会は、入学式後に実施しており、前年度の報告と今年年度の活動計画を審議してもらいます。第1回役員会において、各委員会の組織作りが行われました。



PTA総会



第1回役員会

## (2) 学校行事参加型事業

## 1) 全校田植え大会

期日：5月下旬

場所：本校水田

内容：田植え大会見学、競技参加

参加者：45名の保護者が参加

## 3) 柏農ねぶた

期日：8月2日・3日

場所：平川市運行コース

内容：平川ねぶたまつりへの出陣

参加者：2日間のべ15名の役員が参加

## 5) 柏農祭

期日：10月最終日曜日

## 2) ウォーク21

期日：6月上旬

コース：志賀坊コース、白岩コース、渾水コース

内容：全校耐久歩行の補助、耐久歩行参加

参加者：9名の役員が参加

## 4) 全校稲刈り大会

期日：9月下旬

場所：本校水田

内容：稲刈り大会見学、競技参加

参加者：27名の保護者が参加

## 6) 各種発表会

期日：12月・3月

場所：本校校舎内  
 内容：餅つき会、餅・柏農鍋振舞い  
 参加者：準備20名の保護者が参加  
 当日28名の保護者が参加

場所：本校第1体育館  
 内容：生徒の研究活動発表会や意見発表会見学  
 参加者：プロジェクト発表会に保護者1名が参加  
 意見発表会に保護者1名が参加



全校田植え大会

ウォーク21



柏農ねぶた出陣

全校稲刈り大会



全恋稲刈り大会（PTAの部）

柏農祭（餅つき）

柏農祭（餅・柏農鍋振舞い）

### (3) P T A 運営型事業

#### 1) 登校時一声運動

期日：7月中旬  
 内容：登校時のあいさつ運動  
 参加者：2日間のべ18名の役員が参加

#### 2) 研修旅行

期日：8月下旬または9月上旬  
 内容：P T A 会員の親睦を目的として実施旅行  
 昨年度・盛岡わんこそばツアー  
 参加者：保護者29名が参加

#### 3) 校内研修会

期日：柏農祭前日  
 内容：柏農祭で振舞う『バター餅』  
 の作り方研修  
 講師：齋藤みどり氏  
 参加者：13名の保護者が参加

#### 4) 『かしわ葉』発行

期日：6月・12月・3月の3回発行  
 内容：各種行事、P T A 活動状況、学校情報の掲載



登校時一声運動

研修旅行（盛岡八幡宮・わんこそば）

校内研修会（バター餅作り）

### 3 まとめ

本校の活動内容を紹介しましたが、本校では数多くの学校行事が行われています。そこで活動している子どもたちの生き生きした姿を見ることができる機会があり、その姿に触れる機会が私たち保護者にはあります。子どもたちの家庭では見ることのできない表情を提供してくれるのが学校であり、地域なのです。そして私たち保護者も学校行事に参加することで学校の現状が見え、子どもたちとの関係が深まり、他の保護者と情報交換することで、少しでも子育ての不安が解消につながることを期待しています。

## 研究協議／三八地区

## 『楽しく活動しよう』

～ 子ども達のために協力を惜しまず、  
我々も楽しむPTA ～

八戸学院光星高等学校PTA会長 向田秀美



## 【 学校概要 】

昭和31年4月18日、学校法人白菊学園として初代理事長中村由太郎先生により設立。八戸市内初の私立男子校として誕生。普通科2学級から始まり、昭和43年度には生徒数1500名を超える県内随一のマンモス校に成長。

その後、商業科、自動車科、建築科、機械科、電気科、保育科、福祉科と時代のニーズに応え増設。昨今の大学進学志向に、普通科の充実と保育福祉科の根強い人気に伴い、今年度新入生はこの2科に限定し募集。時代とともに様々な変革がありました。将来のビジョンを3年間でデザインすることを目標に、昨年度より「全日制未来志向型単位制」を導入。

また、大学との高大連携をはかり、昨年度から2年次には大学での講義を受講できるシステムを開始。現在も26名の生徒が大学生とともに学び単位を取得しています。

さらに、海外語学研修も昨年度から開始され、フィリピンCNE1で8日間の研修を行っています。部活動での活躍が目覚ましく、硬式野球部は甲子園常連校となり、全国から本校を目指して入学してきます。レスリング部、バスケット部、チアリーディング部、陸上競走部は全国大会に出場しています。



大学生と一緒に受講

札幌米国領事館首席領事来校

北澤豪氏 サッカー部に講演



レスリング部

チアリーディング部

選抜甲子園出場決定

## 【 PTA活動のモットー 】

『楽しく、仲良く活動しよう!』これが、本校PTAのモットーです。

PTA活動というなればボランティアです。子供たちのためになるのなら何でもしようと思ひ、始めるのですが、楽しくなければ辛くなり長続きできません。楽しいからまた次も集まろうと思ひます。楽しければ新しいアイデアも浮かびます。楽しいから時間のやりくりをして、駆けつけます。出来る時に、出来る範囲で活動する。お互いを認め助け合える仲間づくりの場でもあります。この姿勢が、この協力体制が、長続きし楽しいPTA活動につながるのだと思ひています。

【 PTAの4つの委員会 】

本校は、「学年委員会」「研修委員会」「健全育成委員会」「広報委員会」の4つの委員会で活動しています。各委員会の年間目標を決め実践します。さらには委員会の横のつながり、学年の縦のつながりもあり、みんなで協力します。

「学年委員会」は、研修旅行や文化祭などの企画をします。また3年生は、卒業祝賀会に向けて企画をします。特に文化祭（光星祭）では、PTAの模擬店を出します。様々な食品や野菜はあっという間に売れてしまいます。バザーでの品物は、毎年開店前から予約に来られる近所の方もいます。去年はワークショップとしてハーバリウムの制作をしました。役員OGの方が教えてくださったのですが大変好評でした。何といても、一番人気は、PTA名物「大鍋せんべい汁」です。B1 グルメ日本一の八戸名物「せんべい汁」をこだわりの味付けで、大鍋で作るのですから美味しいはずです。あっという間に2日分1100食が完売してしまうほどです。生徒からも毎年人気です。お母さんたちは、生徒には大盛り大サービスで販売しています。

「研修委員会」は、年に2～3回の研修会を企画します。去年はハーバリウムの制作、AEDの講習会を企画しました。とても好評で連続企画の研修もあります。

「健全育成委員会」では、年2回の挨拶運動と花の水遣り（校舎の周囲にプランターを設置）の企画をして季節を楽しみます。挨拶運動も花の水遣りも、生徒会と協力して行います。

「広報委員会」では、年3回広報紙「東雲」を制作します。少人数の委員で活動していますが、アイデアを出し合って時間を有効に使い、できる範囲で制作しています。ここ数年は連続して入賞をいただいております。



研修旅行（水陸両用バス）

ハーバリウム講習会

挨拶運動（生徒も参加）



光星祭PTA展（せんべい汁・野菜コーナー・バザーコーナー）

【 おわりに 】

私たち現役のPTAは、OB・OGの方々にも協力を頂いています。コミュニケーションの場を作り、イベントにも参加していただくように考えており、縦のつながりを大事にしています。

PTAの役員は卒業しても、後援会のメンバーとして残り活動します。生徒は卒業しても、協力しようという思いは皆さん持ち続けています。それはまさに、楽しい活動だからに他なりません。



## 研究協議／上十三地区

## ～学校と保護者をつなぐ活動について～

百石高等学校PTA会長 河村 信 男



## 1 学校概要

## (1) 学校の沿革

昭和23年7月1日に青森県立三本木農業高等学校百石分校として開校した。その後、昭和27年には青森県立八戸東高等学校所管となり、普通科とともに夜間部が設置された。昭和32年には夜間定時制課程を併設した上、青森県立百石高等学校として独立開校した。昭和43年定時制課程を家政科に転科、昭和46年には新たに商業科を設置した。平成5年家政科を食物調理科に改編し、調理師法の規定により調理師養成施設として厚生大臣より指定を受けた。また、平成27年本校のこれまでのキャリア教育の取組みが認められて、キャリア教育文部科学大臣賞を受賞、平成30年に創立70周年の節目典を迎えた。



また、本校は「発見・挑戦・実現～君の輝く場所がある～」をキャッチフレーズに掲げ、系統的なキャリア教育を通して、地域社会の中核となって活躍する人材育成を目指している。

## (2) 学校規模

現在、1学年普通科2クラス80名、食物調理科1クラス40名。2学年普通科3クラス111名、食物調理科1クラス40名。3学年普通科3クラス111名、食物調理科1クラス36名で全校生徒418名の中規模校である。

## (3) 進路状況【平成30年度卒業生】

卒業生146名中進学者52名、県内就職者60名、県外就職者26名、公務員6名、その他2名である。4年制大学進学先は、青森県立保健大学健康科学部、八戸学院大学健康医療学部、八戸学院大学地域経営学部、北海道文教大学人間科学部、盛岡大学文学部、仙台大学体育学科、東北生活文化大学家政学科である。

## (4) 部活紹介

運動部 硬式野球、男女バスケット、男女サッカー、女子バレー、男女卓球、ソフトテニス

ボウリング、陸上競技、スケート、柔道

文化部 家庭クラブ、茶華道、手芸、放送、吹奏楽、インターアクト、演劇、将棋、美術、書道

## 2 平成30年度本校PTAの主な活動

## (1) あいさつ運動

健全育成委員会を中心に本年度は2回実施した。1回目は8月23日～31日、2回目は1月15日～18日に実施した。1回目の保護者参加延べ人数は34名、教職員の参加延べ人数は90名、2回目の保護者参加延べ人数は20名、教職員の参加延べ人数は40名である。



### (2) P T A 環境整備について

7月14日(土)に体育祭に備えてグラウンド整備、側溝の泥上げ、体育館倉庫の整理、清掃を行った。また、生徒玄関の水洗いと清掃を行った。保護者の参加人数は13名、生徒参加人数は143名、教員の参加人数は16名である。終了後には慰労の意味も込めて「飲み物とパン」を配付し、好評であった。



### (3) 文化祭について

10月の文化祭前に、研修委員会が主導して、食材の注文、容器、買い出しの当番等を決め、担当の時間割り当て表作成を行った。母親のブースを「おふくろショップ」、父親のブースを「おやじの会」と命名し、それぞれ計画し実施した。「おふくろショップ」は、「揚げたこ焼」と「サーティワンアイスクリーム」を販売し、「おやじの会」は「じゃがバター」を販売した。母親の参加者は延べ人数約30名、父親は3名である。



### (4) 研修旅行

研修委員会を開催し、研修場所を選定・計画した。なんとと言っても、楽しみの一つは食事である。今回は盛岡ということあり、名物となっている「じゃじゃ麺」と「焼肉」となった。今回はさらに、父親にも積極的に参加してもらいたいというということで、「あさ開酒造」、地ビールの製造にあたっている「ベアーレン」も研修場所に加えた。



## 3 おわりに

少子化の進む中、本校も生徒数確保が課題となっている。中学生に本校に対する関心もってもらうためには、保護者にも本校の良さを知ってもらう必要がある。そのためにも、P T A活動を活性化させ、本校に関心をもってもらおう努力を続けていかなければならない。保護者同士のつながりにはパワーがある。できる人ができるときに来て参加し、活動を盛り上げていこうという気持ちと、行事をみんなで一緒に楽しむという雰囲気が大切ではないだろうか。そうした気持ちや雰囲気が学校全体に広がり、ひいては子供たちに伝わることを願い、さらに活動を発展させていきたいと考えている。

# 令和元年度 青森県高等学校PTA連合会事業計画

## 活動方針及び事業計画

### 1 生涯学習を推進し、会員研修と広報活動を充実する。

- (1) 各委員会主管の研修会や各地区協議会研修会等へ積極的に参加する。
- (2) 県大会（むつ市）、東北大会（山形市）、全国大会（京都市）へ積極的に参加する。
- (3) 各委員会活動を活性化する。
  - ・各委員会主管の研修会を充実する。
  - ・東北地区高P連・全国高P連各委員会活動を担う。
- (4) 広報紙コンクールに積極的に応募すると共に、審査会を充実する。
- (5) 広報活動を拡充する。
  - ・広報紙「つながり」（年2回発行）の内容を充実する。
  - ・リーフレットを新入生保護者に配布し、本連合会及びPTA活動の理解を深める。
  - ・本連合会ホームページ（<http://www.aomori-koupren.com/>）により各種情報を提供する。

### 2 単位PTA及び地区協議会活動を助成する。

- (1) 各地区協議会の研究活動に対する助成を行うと共に、連絡や連携を密にする。
- (2) 単位PTA会長会議を開催（年2回）し、諸課題について協議すると共に情報交換を深める。
- (3) 高校生の健全育成に取り組む活動を支援する。
- (4) 生徒の安全に関する保険等への団体加入を推進する。
  - ・全国高P連賠償責任補償制度、自転車総合保険、高校生総合保障制度の加入率向上に努める。
- (5) PTA活動の望ましい在り方について調査研究を行い、生徒数減等による組織縮小化に対する様々な方策を模索する。

### 3 関係機関や関連団体との連携を推進する。

- (1) 県教育委員会・県高等学校長協会等と連携し、教育環境における諸課題や進路対策等に積極的に取り組む。
- (2) 県高校定時制通信制教育振興会・私立高校保護者会連合会・特別支援学校PTAに対して助成を行う。
- (3) 県教育委員会等主催による研修会へ積極的に参加する。
- (4) 教育環境改善促進のための各種情報収集を行う。

# 令和元年度 青森県高等学校PTA連合会 年間行事予定表

## 青森県高等学校安全互助会

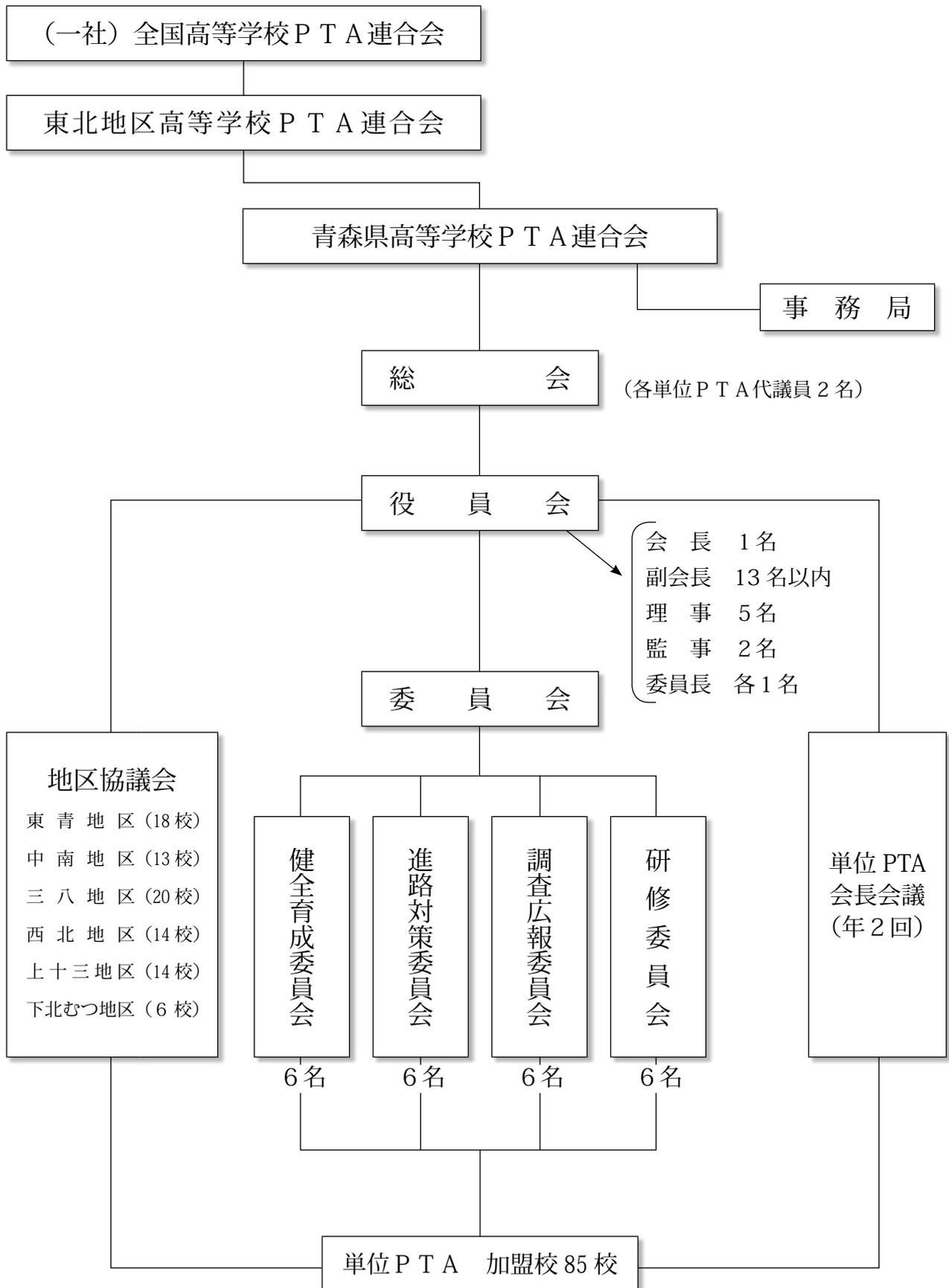
	4 月	5 月	6 月	7 月
青森県高P連	18 会務会計監査①	14 受賞者選考委員会・役員会① 17 調査広報委員会① 24 総会・委嘱状交付式 (アップルパレス青森)	7 県大会(むつ市) 21 研修委員会① 21 進路対策委員会① 21 健全育成委員会① 28 広報誌づくり研修会	12 つながり 91 号発行 19 役員会② (アップルパレス青森) 26 研修委員会② 26 健全育成委員会②
東北高P連		10,11 理事・総務委員 合同会議①(郡山市)	11 総会・各委員会① (福島市)	4,5 東北大会(山形市)
全国高P連			22,23 総会・委員会 (東京ガーデンパレス)	
県安全互助会	18 会務会計監査①	30 理事会(123)	14 評議員会①  30 年度実績報告	12 互助会だより 53 号発行

	8 月	9 月	10 月	11 月
青森県高P連		4 進路対策委員会② 13 健全・研修合同研修会 27 単P会長会議① (弘前パークホテル)	11 調査広報委員会② 17 会務会計監査② 29 進路指導研修会	13 役員会③
東北高P連	2 総務委員会① (山形市)		各委員会(18 進路:青森県、健全:秋田県、調査:宮城県)	
全国高P連	22,23 全国大会 (京都市)		12,13 会長・事務局長研修会 (京都市)	
県安全互助会			3,4 全国総会(札幌市) 17 会務会計監査②	5 理事会(124) 21,22 全国協議会研修会

	12 月	1 月	2 月	3 月
青森県高P連	13 つながり 92 号発行	15,16 調査広報委員会③ 17 健全育成・進路対策・研修合同委員会	4 役員会④ 21 単P会長会議② (青森国際ホテル)	11 リーフレット発行
東北高P連	6 総務委員会②(山形市) 各委員会(20 進路:青森県、健全:秋田県)	10,11 理事・総務委員 合同会議②(山形市)	委員会 (調査:宮城県)	
全国高P連			7,8 会長・事務局長研修会 (東京ガーデンパレス)	
県安全互助会	13 互助会だより 54 号発行 元年度概況報告		20 理事会(125)	11 リーフレット発行 13 評議員会②

※ 県高P連各委員会及び諸研修会等、役員会(於:県総合社会教育センター)  
 県高P連・県高校安全互助会会計監査(於:事務局)  
 県高校安全互助会理事会、評議員会(於:県総合社会教育センター・アップルパレス青森)

## 令和元年度 青森県高等学校PTA連合会組織図



## 平成30年度・令和元年度 青森県高等学校PTA連合会役員名簿

平成30年度			令和元年度			備 考
役 名	氏 名	学校名	役 名	氏 名	学校名	
会 長	中村美津緒	青森西	会 長	中村美津緒	青森西	
副 会 長			副 会 長			
〃	蝦名 真希	青森明の星	〃	蝦名 真希	青森明の星	東青地区協議会長
〃	今井 武	柏木農業	〃	今井 武	柏木農業	中南地区協議会長
〃	向田 秀美	八戸学院光星	〃	向田 秀美	八戸学院光星	三八地区協議会長
〃	今 広樹	五所川原商業	〃	藤田 重彦	鶴 田	西北地区協議会長
〃	成田 一郎	三本木農業	〃	畑山 昭博	三本木農業	上十三地区協議会長
〃	吉田 錦一	大 湊	〃	吉田 錦一	大 湊	下北むつ地区協議会長
〃	穴倉 慎次	青 森	〃	穴倉 慎次	青 森	県高校長協会推薦
〃	高谷 正	三本木農業	〃	下川原堅藏	大 湊	〃
〃	蝦名 博	むつ工業	〃	中嶋 豊	弘前実業	〃
〃	山本 真	弘前学院聖愛	〃	柴田 一則	八工大第二	私立高校保護者会推薦
〃	越田 宏治	青森東	〃	越田 宏治	青森東	会長推薦
〃	益川 毅	三本木	〃	泉 夏樹	青森南	〃
理 事	敦賀 定彦	青森商業	理 事	敦賀 定彦	青森商業	県高校長協会推薦
〃	遠藤 剛	柏木農業	〃	高野 浩輝	柏木農業	各地区1名
〃	明石 進	八工大第二	〃	明石 進	八工大第二	
〃	菊地 建一	五所川原農林	〃	幸山 勉	五所川原工業	
〃	工藤 清寿	七 戸	〃	遠藤 剛	三本木農業	
監 事	沼尾 冬樹	十和田西	監 事	南 忍	大 間	下北むつ地区協議会
〃	飛内 文代	北 斗	〃	渡部 靖之	北 斗	県高校長協会推薦
健全育成委員長	開米 恵	木 造	健全育成委員長	松澤 充	金 木	西北地区協議会
進路対策委員長	古舘 至	七 戸	進路対策委員長	古舘 至	七 戸	上十三地区協議会
調査広報委員長	三上 智幸	青森明の星	調査広報委員長	中村 靖子	青森明の星	東青地区協議会
研 修 委 員 長	今井 武	柏木農業	研 修 委 員 長	阿部 善将	柏木農業	中南地区協議会
顧 問	若宮 佳一	八 戸	顧 問	若宮 佳一	八 戸	前会長

### 青森県高P連事務局

平成30年度			令和元年度			備 考
事 務 局 長	氏 名		事 務 局 長	氏 名		
事 務 局 次 長	原田 豊則		事 務 局 次 長	原田 豊則		安全互助会事務局次長
事 務 主 任	今 美智留		事 務 主 任	今 美智留		

〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目11-6 計量検定グループ庁舎内

TEL 017-757-8586 FAX 017-757-8587

e-mail: akp017si@galaxy.ocn.ne.jp

http://www.aomori-koupren.com/

## 平成30年度・令和元年度 青森県高等学校PTA連合会委員名簿

### 健全育成委員会

平成30年度			令和元年度		
役名	氏名	所属校	役名	氏名	所属校
委員長	開米 恵	木 造	委員長	松澤 充	金 木
委員	宮田 和也	青森西	委員	大河原 直子	青森西
委員	永井 純一	東奥義塾	委員	木村 真紀子	東奥義塾
委員	大崎 光明	八戸学院光星	委員	大崎 光明	八戸学院光星
委員	今里 美	大湊川内	委員	横手 義信	三本木農業
事務局長	長谷川 孝樹	木 造	事務局長	岩田 金光	金 木

### 進路対策委員会

平成30年度			令和元年度		
役名	氏名	所属校	役名	氏名	所属校
委員長	古舘 至	七 戸	委員長	古舘 至	七 戸
委員	窪田 真衣子	青森南	委員	山内 愛子	青森南
委員	金田 実	弘前実業	委員	金田 実	弘前実業
委員	平島 みゆき	八戸西	委員	小栗 文彰	八戸西
委員	山田 真一	五所川原農林	委員	伊東 健治	鱒ヶ沢
事務局長	小笠原 辰実	七 戸	事務局長	小笠原 辰実	七 戸

### 調査広報委員会

平成30年度			令和元年度		
役名	氏名	所属校	役名	氏名	所属校
委員長	三上 智幸	青森明の星	委員長	中村 靖子	青森明の星
委員	棟方 晃	弘前学院聖愛	委員	棟方 晃	弘前学院聖愛
委員	松村 茂信	八戸東	委員	松村 茂信	八戸東
委員	平山 正子	五所川原工業	委員	松野 健	五所川原農林
委員	河村 信男	百 石	委員	領毛 理	田名部
事務局長	小澤 綾乃	青森明の星	事務局長	小澤 綾乃	青森明の星

### 研修委員会

平成30年度			令和元年度		
役名	氏名	所属校	役名	氏名	所属校
委員長	今井 武	柏木農業	委員長	阿部 善将	柏木農業
委員	中川 めぐみ	青森工業	委員	菊池 知子	青森工業
委員	橋本 睦子	八戸学院光星	委員	大野 彰子	八戸学院光星
委員	山本 弥智世	鱒ヶ沢	委員	工藤 小百合	五所川原商業
委員	大場 可奈子	大 湊	委員	奥村 睦子	三本木農業
事務局長	舘山 昭廣	柏木農業	事務局長	北畠 顕嗣	柏木農業

## 平成30年度・令和元年度 単位PTA会長一覧表

学 校 名	平成30年度	令和元年度
青 森	浅 田 豊	三 浦 基
青 森 西	中 村 美津緒	中 村 美津緒
青 森 東	加 藤 卓 治	越 田 宏 治
青 森 東 平 内 校 舎	石 戸 建 臣	石 戸 建 臣
青 森 北	柿 崎 稔	高 橋 玲 治
青 森 北 今 別 校 舎	加 藤 覚	川 崎 秀 夫
青 森 南	阿 部 浩 志	藤 谷 仁 子
青 森 中 央	立 田 和 徳	川 村 隆 義
北 斗	高 坂 充 孝	高 坂 充 孝
浪 岡	木 村 理 佐	工 藤 幸 乃
青 森 工 業	大 室 幸 司	山 田 直 人
青 森 工 業 ( 定 時 制 )	滝 本 布 由 子	滝 本 布 由 子
青 森 商 業	後 藤 睦 雄	瀧 谷 泰 規
青 森 明 の 星	蝦 名 真 希	蝦 名 真 希
県 立 盲	今 隆 範	今 隆 範
青 森 豊	蛭 名 千 鶴	水 谷 浩 明
青 森 第 二 養 護	中 野 渡 美 保	棟 方 輝 由 紀
青 森 第 二 養 護 高 等 養 護	葛 西 太 生	工 藤 香 織
弘 前	前 田 一 隆	藤 田 あ つ 志
弘 前 中 央	大 高 義 昭	八 木 橋 旬 一
弘 前 南	佐 々 木 正 和	木 村 周 平
黒 石	竹 林 江 里 子	工 藤 央 志

学 校 名	平成30年度	令和元年度
柏 木 農 業	今 井 武	今 井 武
弘 前 工 業	伊 藤 達 也	菊 池 祐 司
弘 前 工 業 ( 定 時 制 )	大 坊 真 紀	中 根 緑
弘 前 実 業	對 馬 明 宏	大 川 喜 慎
弘 前 実 業 藤 崎 校 舎	太 田 陽 一	
黒 石 商 業	村 上 照 幸	山 田 秀 子
東 奥 義 塾	棟 方 秀 和	永 井 純 一
弘 前 学 院 聖 愛	山 本 真	棟 方 晃
弘 前 東	工 藤 順	木 村 龍 悦
尾 上 総 合	對 馬 正 人	對 馬 正 人
八 戸	若 宮 佳 一	橋 本 博 文
八 戸 東	山 田 知	黒 坂 広 文
八 戸 北	鈴 木 修	鈴 木 修
八 戸 西	中 村 正 記	榎 本 直 行
八 戸 中 央	類 家 麻 理 子	類 家 麻 理 子
五 戸	久 田 伸 博	鳥 谷 部 保 治
三 戸	藤 原 文 雄	下 村 太 平
田 子	小 林 靖 典	藤 村 一 豊
名 久 井 農 業	寺 澤 博 幸	野 田 尚 志
八 戸 水 産	番 地 ゆ か	白 川 慎 一
八 戸 工 業	葛 西 慶 信	濱 田 義 秋
八 戸 工 業 ( 定 時 制 )	中 村 智 加 子	山 岡 泰 代

学 校 名	平成30年度	令和元年度
八 戸 商 業	山 口 仁	近 藤 路 子
千 葉 学 園	佐々木 康 人	西 塚 覚
八 戸 聖 ウルスラ学院	金 入 弘 至	金 入 弘 至
八工大第一	田名部 智 之	田名部 智 之
八工大第二	柴 田 一 則	柴 田 一 則
八戸学院光星	向 田 秀 美	向 田 秀 美
向 陵	小笠原 修	小 笠 原 修
八戸高等支援	千 葉 博 人	千 葉 博 人
木 造	田 中 久 仁	福 島 正 貴
木造深浦校舎	七 戸 順 一	七 戸 順 一
鯨ヶ沢	吉 田 孝 太 郎	兼 平 正 春
五所川原	小山内 忠 文	小山内 忠 文
五所川原 (定時制)	中 畑 清 美	石 澤 真 也
板 柳	三 戸 康 正	三 戸 康 正
金 木	大 川 勝 仁	松 澤 充
中 里	小 寺 也 人	小 寺 也 人
鶴 田	藤 田 重 彦	藤 田 重 彦
五所川原農林	岩 谷 康 平	山 田 真 一
五所川原工業	棟 方 博 之	木 村 賢 蔵
五所川原第一	笹 山 和 信	山 形 邦 康
五所川原商業	今 広 樹	二川原 英 喜
森 田 養 護	鳴 海 功	工 藤 卓 也

学 校 名	平成30年度	令和元年度
野 辺 地	上原子 亘	千 葉 真 樹
七 戸	竹 内 貴 之	竹 内 貴 之
六 戸	川 村 秀 典	北 村 貴 志
六ヶ所	吉 岡 賢 一	大 湊 京 生
三 本 木	益 川 毅	菅 文 昭
十和田西	坂 田 勝 彦	沼 尾 冬 樹
三 沢	宮 野 ゆかり	種 市 博 幸
三 沢 (定時制)	織 笠 石 夫	織 笠 石 夫
百 石	市 川 ひろみ	河 村 信 男
三本木農業	成 田 一 郎	畑 山 昭 博
十和田工業	蛭 澤 康 之	林 崎 一 夫
三 沢 商 業	田 嶋 享	田 嶋 享
八 戸 学 院 野 辺 地 西	鈴 木 かく子	鈴 木 かく子
七 戸 養 護	赤 垣 義 憲	赤 垣 義 憲
田 名 部	由 川 裕 規	由 川 裕 規
田 名 部 (定時制)	飯 沢 里 美	相 馬 学
大 湊	吉 田 錦 一	吉 田 錦 一
大湊川内校舎	今 里 美	工 藤 学
大 間	金 澤 秀 人	伊 藤 一 章
む つ 工 業	倉 内 健 次	二本柳 信 行



## 各地区協議会担当ローテーション

## 1) 青森県高P連会長

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森西					
<b>元</b>	青森西					
2						
3						
4						

## 2) 地区協議会事務局 網掛けは県大会実施地区（網かけ斜線3年度は東北大会）及び大会事務局校

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森明の星	柏木農業	八戸光星学院	五所川原商業	三本木農業	大湊
<b>元</b>	青森明の星	柏木農業	八戸光星学院	鶴田	三本木農業	大湊
2	青森南	弘前実業	名久井農業	板柳	三沢商業	田名部
3	青森南	弘前実業	八戸東	五所川原農林	三沢商業	田名部
4	青森中央	弘前学院聖愛	八戸東	五所川原第一	野辺地	むつ工
5	青森中央	弘前学院聖愛	八戸西	木造	十和田工業	むつ工
6	青森商業	弘前南	八戸西	統合高	十和田工業	田名部

## 3) 健全育成委員会 網かけは委員長地区及び担当校（2・3・4・5年度は東北副委員長）

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森西	東奥義塾	八戸学院光星	木造		大湊川内
<b>元</b>	青森西	東奥義塾	八戸学院光星	金木	三本木農業	
2	青森東	尾上総合	名久井農業	鶴田		むつ工
3	青森東	弘前中央	八戸東	五所川原		田名部
4	青森工業	弘前	八戸東	五所川原商業	野辺地	
5	青森工業	黒石	八戸西	五所川原農林		大湊
6	青森	弘前工業	八戸西	五所川原第一	十和田工業	

## 4) 進路対策委員会 網かけは委員長地区及び担当校（30・元年度は東北副委員長）

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森南	弘前実業	八戸西	五所川原農林	七戸	
<b>元</b>	青森南	弘前実業	八戸西	鱒ヶ沢	七戸	
2	青森中央	弘前学院聖愛	八戸商業	木造		大湊川内
3	青森中央	弘前学院聖愛	八戸商業	五所川原商業	六ヶ所	
4	青森商業	弘前南	ウルスラ	五所川原農林		むつ工
5	青森商業	弘前南	ウルスラ	五所川原第一	三沢	
6	青森西	東奥義塾	三戸	木造		

## 5) 調査広報委員会 網かけは委員長地区及び担当校（4・5・6・7年度は東北副委員長）

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森明の星	弘前学院聖愛	八戸東	五所川原工業	百石	
<b>元</b>	青森明の星	弘前学院聖愛	八戸東	五所川原農林		田名部
2	青森南	弘前南	名久井農業	五所川原第一	十和田工業	
3	青森南	弘前南	名久井農業	五所川原工業		大間
4	青森中央	東奥義塾	八戸工業	五所川原	八学野辺地西	
5	青森中央	東奥義塾	八戸工業	五所川原商業		田名部
6	青森商業	尾上総合	八戸商業	五所川原農林	三沢商業	

6) 研修委員会 網かけは委員長地区及び担当校

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森工業	柏木農業	八戸学院光星	鱈ヶ沢		大湊
<b>元</b>	青森工業	柏木農業	八戸学院光星	五所川原商業	三本木農業	
2	浪岡	弘前実業	名久井農業	五所川原農林		大湊
3	浪岡	弘前実業	八戸東	木造	三沢商業	
4	青森	弘前学院聖愛	八戸東	五所川原工業		大湊
5	青森	弘前学院聖愛	八戸西	五所川原	十和田工業	
6	青森北	弘前南	八戸西	五所川原商業	十和田工業	

7) 監事 網かけは選出地区及び担当校

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30					十和田西	
<b>元</b>						大間
2		東奥義塾				
3	青森東平内					
4			名久井農業			
5				統合高		
6					野辺地	

8) 県大会発表 網かけは発表地区及び担当校

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30	青森南			板柳		大湊
<b>元</b>		柏木農業	八戸学院光星		百石	
2	青森中央			五所川原農林		田名部
3	東北地区大会が青森県開催のため発表はない					
4				五所川原第一	六ヶ所	
5	青森商業		名久井農業			大間
6	青森西		八戸西		三沢商業	

9) 東北・全国発表 網かけは東北大会発表地区及び担当校

年度	東青地区	中南地区	三八地区	西北地区	上十三地区	下北むつ地区
30				板柳		
<b>元</b>					百石	
2						田名部
3						
4				五所川原第一		
5			名久井農業			
6	青森西					

東北大会 (29 岩手県、30 福島県、元 山形県、2 秋田県、3 青森県、4 岩手県、5 宮城県、6 福島県)

全国大会 (29 静岡県、30 佐賀県、元 京都府、2 島根県、3 北信越、4 宮城、5 関東、6 東海)



# 青森県高等学校PTA連合会会則

## 第3章 機 関

### 第1章 総 則

(名称及び事務局所在地)

第1条 この会は、青森県高等学校PTA連合会と称し、事務局を青森市第二問屋町4丁目11-6計量検定グループ庁舎内に置く。

(構 成)

第2条 この会は、この会の目的に賛同して入会する青森県内の高等学校PTA、特別支援学校PTA並びに定時制通信制教育振興会以下(「単位PTA」という。)の会員をもって構成する。

(目 的)

第3条 この会は、青森県内の単位PTAの連絡提携を密にして、単位PTAの発展と教育の振興を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。  
(1) 各単位PTA相互の連絡提携  
(2) 高等学校教育振興に関する調査研究  
(3) 高等学校生徒の健全育成  
(4) 教育・行政機関との連携並びに教育諸団体との連絡及び関係機関への建議  
(5) その他、目的達成に必要な事業

### 第2章 役 員

(役員会の構成と選任)

第5条 この会に次の役員を置く。その任期を1年とし、再任を妨げない。ただし、会長については、任期6年を超えることはできない。また、補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。  
(1) 会長 1名  
(2) 副会長 13名以内  
(3) 理事 5名  
(4) 監事 2名  
(5) 委員長 各1名  
2 役員を選出については、別に役員選任規程をもって定める。

(役員職務)

第6条 役員職務は次のとおりとする。  
(1) 会長はこの会を代表し、会務を統理する。  
(2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。  
(3) 理事は会務の運営に当る。  
(4) 監事は会務の執行及び会計を監査する。  
(5) 委員長は委員会を統括する。

(総会の構成及び招集)

第7条 総会は、代議員によって構成される。  
2 総会は、役員会の決定により会長が招集する。  
3 総会は、通常毎年5月に開催する。ただし、会長が必要と認めるとき及び役員数の過半数の要求があったときは、臨時総会を開催する。  
4 代議員は、各単位PTA毎に2名(保護者代表1、教職員代表1)とする。

(総会付議事項)

第8条 総会は、次の事項を審議決定する。  
(1) 会則の改廃  
(2) 事業計画及び予算の承認  
(3) 事業報告及び決算の承認  
(4) 会費の改訂に関する事項  
(5) 役員を選任に関する事項  
(6) その他、役員会において必要と認められた事項

(総会の定足数及び表決)

第9条 総会は、代議員の2分の1以上の出席をもって成立し、会議の議決は出席者の過半数による。ただし、委任状提出者は出席したものとみなす。

(県大会)

第10条 この会は、毎年1回県大会を開催する。ただし、全国大会や東北大会が本県で開催される場合を除く。  
2 県大会は、各単位PTAの会員によって構成され、この回の目的遂行のために次の事項を研究協議する。  
(1) 会務及び事業  
(2) 各単位PTAより提出された協議題  
3 県大会で表彰を行う。ただし、県大会が行われない場合は総会において行う。

(役員会の招集)

第11条 役員会は、年4回会長が招集する。ただし、必要ある場合は会長が招集する。

(役員会付議事項)

第12条 役員会は、次の事項を審議する。  
(1) 事業計画  
(2) 予算及び決算  
(3) 総会に付議すべき事項  
(4) その他、会務運営に必要な事項

(役員会の定足数及び表決)

第13条 役員会は、役員2分の1以上の出席をもって成立し、会議の議決は出席者の過半数による。



(単位PTA会長会議)

第14条 単位PTA会長会議は、本会に加盟する単位PTA会長等をもって構成し、会長相互の情報交換及び研修を深めるため、年2回開催する。

(地区協議会)

第15条 この会に地区協議会を置く。地区の区分は次のとおりとする。

- (1) 東青地区
- (2) 中南地区
- (3) 三八地区
- (4) 西北地区
- (5) 上十三地区
- (6) 下北むつ地区

2 地区協議会の会則は、各地区において定める。

3 地区協議会長は、各地区で選出する。

(委員会)

第16条 この会に次の委員会を置く。

- (1) 健全育成委員会
- (2) 進路対策委員会
- (3) 調査広報委員会
- (4) 研修委員会

2 委員会は、委員会規程により運営する。

3 総会において特に必要があると認められた場合は、特別委員会を置くことができる。

## 第4章 会 計

(経 費)

第17条 この会の経費は、会費その他の収入をもって支弁する。

(会 費)

第18条 この会の会費は、総会において決定し、加盟する各単位PTAが負担し、毎年6月末日までに納入する。

(会計年度)

第19条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終る。

## 第5章 事 務 局

(事務局)

第20条 この会に事務局を置く。

2 事務局長及び事務職員の任免は、役員会の承認を得て会長がこれを行う。

3 事務局は、事務局諸規程により運営する。

## 第6章 雑 則

(軽易な変更)

第21条 総会の議決を経た事業計画及び収支予算の

うち、軽易な変更は役員会において決定することができる。

(顧問)

第22条 この会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、会長が役員会の同意を得て委嘱する。

3 顧問は、会長の要請により本会会議に出席し、会務について意見を述べることができる。

4 顧問の任期は1年とし、再任を妨げないものとする。

付 則

この会則は、昭和58年6月8日から施行する。

昭和60年6月6日改正

昭和62年6月4日改正

昭和63年6月16日改正

平成元年6月15日改正

平成3年6月13日改正

平成4年6月11日改正

平成5年6月10日改正

平成6年6月10日改正

平成7年5月30日改正

平成8年5月30日改正

平成10年2月26日改正

平成13年5月29日改正

平成16年2月12日改正

平成17年5月27日改正

平成18年5月30日改正

平成19年5月29日改正

平成21年5月29日改正

平成23年5月27日改正

平成24年5月25日改正

平成27年5月29日改正

平成29年5月26日改正

## 青森県高等学校PTA連合会 役員選任規程

(総 則)

第1条 青森県高等学校PTA連合会(以下「本会」という。)会則第5条2項の定めに基づいて、本会役員選任に必要な事項を定める。

(会長、副会長の選任)

第2条 会長は、役員会で候補者に選出され、総会において選任する。

2 副会長は各地区協議会長6名、私立高等学校保護者会連合会の推薦する者1名、県高等学校校長協会の推薦する校長3名及び会長の推薦する者3名以内をもって充て、総会で承認を受けるものとする。

(理事の選任)

第3条 理事は県高等学校長協会が推薦する校長5名が充たる。



(監事の選任)

第4条 監事については、当該年度県大会開催地区より1名、県高等学校長協会の推薦による者1名をもって充て、総会で承認を受けるものとする。

(委員長の選出)

第5条 委員長は各委員会で選出する。

(役員(の被選資格))

第6条 役員は、県高等学校長協会の推薦を受けた者を除き、現にその子が加盟校に在籍中のPTA会長であることを要する。ただし、役員会から要請があった場合は、その限りではない。

(派遣役員)

第7条 本会から、東北地区高等学校PTA連合会理事1名(本会会長)並びに代議員4名(健全育成・進路対策・調査広報委員長と本会事務局長)を役員会の議を経て派遣する。  
2 その他、関係団体の役員となるときは、前項の定めに従う。  
3 ただし、前項の定めによらず、本会を代表する役員を派遣することができる。

(役員(の補充選任))

第8条 本会の役員に欠員が生じたときは、補充選任する。ただし、欠員のまま本会の運営に当たることができる。

付 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。  
平成13年5月29日制定  
平成13年10月18日改正  
平成16年2月12日改正  
平成18年5月30日改正  
平成21年5月29日改正  
平成22年5月28日改正  
平成24年5月25日改正  
平成27年5月29日改正

## 青森県高等学校PTA連合会 委員会規程

(総 則)

第1条 青森県高等学校PTA連合会(以下「本会」という。)会則第16条に定める委員会の運営は、この規程による。

(委員会の任務)

第2条 委員会は、役員から諮問された事項について調査研究し、役員会に答申するとともに、所掌事項に関わる事業の運営にあたる。  
2 委員会は、本会の活動推進に関わる重要事項について、役員会に建議することができる。

(委員会の設置及び所掌事項)

第3条 本会に次の委員会を置き、次の各事項を所掌する。

- 1) 健全育成委員会
    - (1) 高校生との交流に関する事項
    - (2) 社会参加活動の促進に関する事項
    - (3) 健全育成活動の充実と関係諸団体との連携に関する事項
    - (4) 交通安全活動の推進に関する事項
    - (5) 高校生の国際交流に関する事項
    - (6) その他、高校生の健全育成に関する事項
  - 2) 推進対策委員会
    - (1) 高校生の進路指導に関する事項
    - (2) 高校教育に関する調査研究
    - (3) 進路対策に関する関係機関・団体との連携に関する事項
    - (4) その他、進路対策に関する事項
  - 3) 調査広報委員会
    - (1) 広報活動の推進に関する事項
    - (2) 機関紙の発行に関する事項
    - (3) その他、広報に関する事項
  - 4) 研修委員会
    - (1) 研修に関する事項
    - (2) 家庭教育に関する事項
    - (3) 教育環境浄化に関する事項
    - (4) 衣食住と健康維持に関する事項
    - (5) 自然環境の保全に関する事項
    - (6) その他、本委員会として必要と認めた事項
- 2 各地区協議会毎に上記委員会を設け、地区活動の活性化を促進する。

(委員の選出及び定款)

第4条 委員の選出は、本会会則第16条第2項の定めにより、各委員会毎に、原則として各地区協議会より1名を選出する。  
2 委員の任期は、本会会則第5条に準じ1年とする。  
3 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長・副委員長の選任、任務)

第5条 各委員会には委員長1名、副委員長若干名を置く。  
2 委員長、副委員長は各委員会で選出する。  
3 委員長・副委員長の任期は、委員の任期による。  
4 補欠による任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長・副委員長の任務)

第6条 委員長は、委員会を代表し、委員会の議長となる。  
2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは代行する。  
3 委員会は、委員長が招集する。  
4 健全育成委員会、進路対策委員会、調査広

報委員会の各委員長は、東北地区高等学校PTA連合会の委員となる。

(委員会の運営)

第7条 委員会は、本会会則第11条に準じて開催する。

2 委員会が、本会の委員会規程第2条第1項による答申並びに運営及び同規程第2条第2項による建議を行うときは、速やかに議事録を付して役員会に報告しなければならない。

3 委員会は、必要により学識経験者等を招聘し、参考意見を聴くことができる。

4 委員会の事務局は、委員長の所属校内に置く。

(合同委員会)

第8条 委員会の交流を図るため、各委員長・副委員長又は各委員の合同委員会を開催することができる。

2 合同委員会は会長が招集する。

(経費の負担)

第9条 委員会の開催に要する経費は、委員会が負担する。東北地区高等学校PTA連合会委員会の出席に要する経費は、同連合会の定めによる。

付 則

この規程は、平成3年6月13日から施行する。

平成4年6月11日改正

平成5年6月10日改正

平成6年6月10日改正

平成13年10月18日改正

平成16年2月12日改正

平成18年5月30日改正

平成19年5月29日改正

平成20年5月30日改正

平成21年5月29日改正

平成23年5月27日改正

平成27年5月29日改正

## 青森県高等学校PTA連合会 表彰規程

(総 則)

第1条 青森県高等学校PTA連合会（以下「本会」という。）は、受賞者選考委員会の議を経て、次の顕彰を行う。

(表彰状)

第2条 表彰状の贈呈は、次の各項による。

(1) 単位PTAの推薦に基づき、単位PTA役員（PTA会長を除く）として通算3年以上その役にあつて、特に功績が著しいと認められる者1名

(2) 単位PTAの推薦に基づき、渉外主任とし

て通算3年以上その役にあつて、特に功績が著しいと認められる者

(3) 地区協議会長の推薦に基づき、地区協議会役員として、特に功績が著しいと認められる者

(感謝状)

第3条 感謝状の贈呈は、次の各項による。

(1) 本会会長退任のとき

(2) 単位PTA会長退任のとき

(3) 校長が退職するとき

(4) その他、受賞者選考委員会で承認を得た者があるとき

(委員会の構成)

第4条 第2条、第3条に定める顕彰を行うに当たり、本会役員と県教育委員会代表をもって構成する受賞者選考委員会を設け、選考のうえ決定する。

(特別表彰)

第5条 この規程に定めるところのほか、本会が特別表彰を行うときは、その都度、役員会においてこれを決定する。

付 則

1 感謝状・表彰状授与者名については、第2条の(2)及び第3条の(3)を除き県教育長名及び本会会長名の連記とする。

2 表彰状並びに感謝状は、原則として県大会において贈呈する。ただし、県大会が実施されない場合は総会において行う。

3 同一年度年内において、表彰状と感謝状は重複して受けられない。

4 東北表彰、全国表彰における受賞候補者の決定は、それぞれの表彰規程に基づき、受賞者選考委員会の議を経て上部団体へ推薦するものとする。

5 この規程は、昭和59年6月6日から施行する。

昭和60年6月6日改正

平成2年6月14日改正

平成3年6月13日改正

平成5年6月10日改正

平成19年5月29日改正

平成21年5月29日改正



## 青森県高等学校PTA連合会 慶弔規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、青森県高等学校PTA連合会  
(以下「本会」という。)の慶弔に関して必  
要な事項を定めるものとする。

(祝 意)

第2条 加盟校に格別な慶事のある場合は、本会よ  
り祝意を表す。

(見舞い)

第3条 加盟校が不慮の災厄にあった場合は、見舞  
いする。

(弔 意)

第4条 本会役員並びに加盟校のPTA会長及び教  
職員が死亡した場合は、該当する単位PTA  
からの連絡によって次の方法により弔意を表  
す。

- (1) 本会役員 弔電、香料及び供花
- (2) PTA会長 弔電、香料及び供花
- (3) 校 長 弔電、香料及び供花
- (4) 教職員(校長を除く) 弔電及び供花

(その他)

第5条 前条までに定めのない事項は、会長が決定  
する。

付 則

この規程は、昭和58年6月8日から施行する。

平成13年5月29日改正

平成19年5月29日改正

平成21年5月29日改正

一般財団法人 青森県高等学校安全互助会  
**令和元年度ご案内**

**安全互助会加入のお願い**

一般財団法人青森県高等学校安全互助会  
 理事長 大 溝 雅 昭

本会は、会員相互の助け合いによって、日本スポーツ振興センター給付金の不足を補い、医療費等、会員の負担を軽減すると共に、学校における教育活動の安全な実施に寄与することを目的として設立されました。昨今、生徒の怪我や事故が全国的にも増加傾向にあり、それに伴い医療費の負担も家計に重くのしかかっている状況です。本会は共済金の支払いはもとより、生徒が安全に活動できるよう各種団体への助成など社会的にも大きな貢献を果たしております。

本会の趣旨をご理解いただき、引き続き、各校PTA単位でご加入下さいますようお願いいたします。

**◇ 共 済 金 の 内 容**

共済金の区分	補 償 内 容	共 済 金 額
死 亡 共 済 金	学校の管理下において死亡したとき	1,820,000円
後 遺 障 害 共 済 金	学校の管理下における活動中の傷害により、共済約款に定める身体障害の状態（後遺障害）となったとき	第1級 } 2,450,000円
		第14級 } 53,000円
負 傷 共 済 金	学校の管理下における活動中の傷害により、入院又は通院したとき	日本スポーツ振興センター災害給付金の20% （ただし、1カ月の共済金額が4,000円以上50,000円を限度とする）
香 料	学校の管理下・外にかかわらず死亡したとき	50,000円

**◇ 共 済 掛 金**

生徒一人につき、年額、次のとおりです。

- ・ 全 日 制（専攻科を含む） 600 円
- ・ 定 時 制・特別支援学校 250 円
- ・ 通 信 制 100 円

**◇ 共 済 契 約 手 続**

各学校単位で、共済契約申込をしていただきます。共済契約書は単位PTAの会長となります。

**◇ 共済金の請求と支払い**

- ・ 共済金の請求は、香料を除き、日本スポーツ振興センター災害給付金額が決定した後に、共済契約者（PTA会長）を経由して行われます。
- ・ 本会では、送付されてきた請求書の事項を確認し、原則60日以内に共済金を共済契約者の口座に振込みます。

**◇ 平成30年度 事業報告**

<b>1 学校安全普及充実事業費（助成金）</b> (1) 県高等学校体育連盟 100,000 円 (2) 県高等学校文化連盟 100,000 円 (3) 地区協議会安全教育活動費 289,284 円 (4) 県高P連安全教育活動費 100,000 円	<b>3 その他の事業費</b> (1) 安全互助会の手引印刷代 (2) 安全互助会だより 51 号 (3) 安全互助会だより 52 号 (4) 新入生保護者用リーフレット印刷代
<b>2 共済金等給付事業費</b> (1) 死亡共済金 0 件 0 円 (2) 後遺障害共済金 0 件 0 円 (3) 負傷共済金 439 件 8,000,791 円 (4) 香 料 2 件 100,000 円	<b>○ 青森県高等学校安全互助会加入生徒数</b> 全 日 制 31,529 名 定時制・特別支援学校 1,095 名 通 信 制 344 名 総 数 32,968 名

令和元年度 青森県高等学校PTA連合会

## 下北むつ大会要項

---

発行日／ 令和元年6月7日

発行者／ 青森県高等学校PTA連合会

主 管／ 青森県高等学校PTA連合会  
下北むつ地区協議会

印 刷／ 二北印刷所  
青森県むつ市新町3-3



#### 青森県高P連 シンボルマークについて

親と教師と学校（生徒）、三者が共に協力しながら大きな輪を作って行こう、共に歩もうという意思を表現したものです。  
昭和53年、青森県高P連発足30周年を記念して制作されたものです。作成は、高橋義正氏です。